

国柄探訪
平成24年9月23日号

メール
マガジン

歴史教科書読み比べ

「古墳はなぜ作られたのか?」
その規模と数で世界史的にも特筆すべき日本の古墳が作られた理由は何か。

1. 「世界最大の墓・大仙

古墳(仁徳天皇陵)

古墳は日本史のみならず世界史においても特筆すべき建造物である。まずはその大きさ。育鵬社版は「世界最大の墓・大仙古墳(仁徳天皇陵)」と題して、半頁ほどのコラムを掲載している。

大仙古墳は全長486m、高さ35m、三重の塙

を含めた総面積約46万平米という巨大な墓です。

土の総量だけでも10トントラック25万台分とい

われ、1日2000人が働いたとしても、約16年

をかかる大土木工事でした。この時代に、これほど

かかる大工事を完成させた大和朝廷の国力と技術には目

を見ります。
[1, p.29]

さらに、「大仙古墳(仁徳天皇陵)」の空からの

写真を掲載し、「日本最大の古墳で、秦の始皇帝陵

の約4倍の面積がある」と説明している。

また別のページには、「課題学習 古墳探訪」とい

う1頁のコラムもあり、「兵庫県の五色家古墳が、

当時の姿に復元された写真を掲載し、「後円部の高

さは約18m、6階建てのビルとほぼ同じ高さ」な

ど分かりやすくしている。

解説は通常、緑に覆われて自然の丘のように見え

るので、大きさは感じられないが、側面が石で覆わ

れた当時の姿では、まさに人工物で、周辺の中層のマ

ンションがよく小さく見えるほど偉容である。

[1, p.31, 32]

3. 古墳の巨大さ、数の多さ

朝鮮半島の優位性を示す

4. 古墳からの出土品で

古墳の優位性を示す

古墳の数や大きさでは敵はないので、東京書籍版

は出土品を挙げて、朝鮮半島の先進性を強調しよう

とする。3分の2頁も使って、いくつかの品を写真

で紹介しているが、そのやり口が天才的だ。
[6, p.27]

まずは、「新羅の古墳から出土したかんむり」と

中学生が「よく似ているね。色がちがうのはなぜだ

ろう」と問い合わせているのに、日本のは青銅

新羅の冠は金で作られている。漫画の男子

は金色、後者は緑青で錫びている。

日本では「新羅の古墳から出土したかんむり」を並べ、前者

は「日本の古墳から出土したかんむり」と

日本では「日本の古墳から出土したかんむり」と

しゅつ ちょう しょ

遠藤
じょとう

次長「事業変わりない」

何故か名刺は「支所」のまま

巻

JICAサンパウロはこの10年未満のうちに事務所から支所、さらに出張所にまで變った。名称變更だけで事業内容に変わらないと言われても、予算削減に伴う実上の格下げかと思われる人がいても不思議はない。

というのも、04年に小松喜玄サンパウロ支所長がブラジル事務所長に昇任した後、支所長職が1年以上も異例の不在となつた。そんな05年にベレン事務所が閉鎖され、「サンパウロ支所もいずれ閉鎖か」という噂によると、JICAサンパウロは、今年JICA職員から受け取った名刺は「支所」のまま。事情を確認したところ、ブラジリアの遠藤浩昭次長の回答は「正式に出張所になったのは08年10月。名称だけの問題で業務内容は全く変わらないので発表しなかつた」というものだった。

クリチーバ館 日本文化月間、31日まで

クリチーバ館 日本文化月間、31日まで

多彩なイベント目白押し

クリチーバ・日本国総領事館の主催で2日から31日まで、市内で「日本時間通り(Rua 24 horas)」

日本文化月間が開催されて

決めていない「百周年」

で、本紙からの「百周年」

言を避ける回答をしてい

るが?」との質問に

こえるが?」との質問に

対し、「現時点で廃止は

決めていない」と明

らかに答えた。

その後は記者会見

で記者会見

が開かれ、招待客ら約1

60人が出席した。

山口登総領事、原ル

イ・クリチーバ大都市圏

調整局長、大城義明・パ

ラナ日伯商工會議所会頭

などが挨拶して開催を祝

し、鏡開きの後、クリ

チーバ若葉太鼓による

力強い迫力ある演奏が出

た。その後は、

千馬医師、佐藤理事長

が登壇した。

イベントが行われる24時間通り(総領事館提供)

は、

